

令和7年度全国高等学校総合体育大会

第94回全国高等学校卓球選手権大会 実施要項

(注)本要項はあくまでも参考としてください。実際の手続き等は正式な大会要項にてご確認ください。(2月現在)

- 主催 (公財)全国高等学校体育連盟、(公財)日本卓球協会、山口県、山口県教育委員会、下関市、下関市教育委員会
 共催 読売新聞社
 後援 スポーツ庁、(公財)日本スポーツ協会、NHK、(公財)山口県スポーツ協会、下関市スポーツ協会
 主管 (公財)全国高等学校体育連盟卓球専門部、山口県高等学校体育連盟、山口県卓球協会
 特別協賛 全国高体連より提示された企業
 協賛 全国高体連より提示された企業及び競技種目で協賛となった企業

- (1) 期 日 2025年7月30日(水)～8月4日(月)
 (2) 会 場 公開抽選会
 開会式 7/30(水)16:00～ : J:COMアリーナ下関(下関市総合体育館)
 競技 7/31(木)～8/4(月) : J:COMアリーナ下関(下関市総合体育館)
 閉会式 8/4(月)競技終了後 : J:COMアリーナ下関(下関市総合体育館)
 (3) 競技種目 ①男子学校対抗(団体戦) ②女子学校対抗(団体戦)
 ③男子ダブルス ④女子ダブルス
 ⑤男子シングルス ⑥女子シングルス

(4) 競技日程

期日	時間	内容(種目)	会 場
7月31日(木)	9:00～18:00	学校対抗(団体戦) 1～2回戦	J:COMアリーナ下関 (下関市総合体育館)
8月1日(金)	9:00～18:00	ダブルス 1～3回戦 学校対抗(団体戦) 3回戦～準々決勝	
2日(土)	9:00～18:00	シングルス 1回戦 ダブルス 4回戦～決勝 学校対抗(団体戦) 準決勝	
3日(日)	9:00～18:00	シングルス 2回戦～5回戦 学校対抗(団体戦) 決勝	
4日(月)	9:00～13:00	シングルス 準々決勝～決勝	

- (5) 競技規定 ①現行の日本卓球ルールと以下の規定を適用する。
 (ア)選手は(公財)日本卓球協会発行のゼッケンを背中につけること。
 (イ)部旗の掲示は200cm×150cm以内のものを1校1枚とする。
 ②個人戦のアドバイザーのベンチ入りについて
 (ア)アドバイザーの資格は、大会申込時にエントリーされた監督・選手に限る。
 (イ)アドバイザー(1名)は、試合開始時に選手とともに競技場に入場する。ただし、他のコートでアドバイスしていた場合は、試合途中でもベンチに入ることができる。試合途中でコートを離れてもよいが、以後はそのコートに復帰できない。
 ③日本卓球ルールで、特に留意すること。
 (ア)ラケット、正規のサービス及び促進ルールについて正しく理解しておくこと。
 (イ)競技用ユニフォームは(公財)日本卓球協会公認マークの付いたものとし、明らかに異なった色のものを2着以上持参すること。
 (ウ)ラバーをラケット本体に貼る場合に使用する接着剤は、(公財)日本卓球協会が公認した接着剤のみとし、必ず指定された場所で使用すること。

(6) 競技方法

- ①全種目11ポイント5ゲームスマッチのトーナメント方式とする。
 ②学校対抗は次の方法で行う。
 (ア)登録選手は4～7名とする。
 (イ)試合順序は次のとおりとする。

順序	1	2	3	4	5
種目	S	S	D	S	S

- 3番のD(ダブルス)は、1番・2番のS(シングルス)に出場した選手同士で組むことはできない。なお、シングルスは全て異なる選手とする。
 (ウ)勝敗は3試合先取で決する。
 (エ)試合は2コートを使用する場合もある。

(7) 使用用具

- ①使用球は、(公財)日本卓球協会公認プラスチック球:40mmホワイトのうち、日本卓球株式会社(3スタープレミアムクリーン)、株式会社VICTAS(VP40+3スター)、株式会社タマス(バタフライスリースターボールR40+)とする。
 ②使用卓球台は、(公財)日本卓球協会公認で、色はブルーとする。

(8) 引率・監督

- ①引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高等学校体育連盟会長に事前に届け出ること。
 ②監督は、校長の認める指導者とし、当該年度に(公財)日本卓球協会に役員登録された者であること。また、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入し、その証明書を添付した「外部指導者申請書」を大会参加申込時に(公財)全国高等学校体育連盟卓球専門部事務局に提出することを条件とする。但し、各都道府県における規定があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規程に従うことを原則とする。

- (9) 参加資格
- ①選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
 - ②選手は、都道府県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部に登録し、当該競技実施要項により全国大会参加の資格を得たものに限る。但し、都道府県高体連に専門部が設置されていない種目については、加盟校の生徒であることとする。
 - ③選手は、当該年度(公財)日本卓球協会に登録されたものに限る。
 - ④年齢は、平成18(2006)年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。(出場とは登録またはエントリーをさす。)大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認める。
 - ⑤チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
 - ⑥以下の場合に限り、複数校合同チームの参加を認める。
 - (ア)部員不足に伴う合同チーム
(都道府県高体連会長により予選会から参加が認められた場合)
詳細は、全国高体連が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」と卓球専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」による。
 - (イ)統廃合対象校による合同チーム
(統廃合完了前の2年間に限る)
 - ⑦転校・転籍後6か月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる。)但し、一家転住等やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。
 - ⑧出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する都道府県高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
 - ⑨学校対抗の選手変更については、以下の条件で認めることができる。
 - (ア)病気等によりやむを得ない場合は、学校長名・印をもって、所定の用紙に必要事項を記入し、診断書を添え、当該大会監督会議までに競技運営委員長へ届け出て、承認を得るものとする。
 - (イ)シングルス又はダブルスにエントリーされている選手を、新たに学校対抗のメンバーに加えることはできない。
 - ⑩参加資格の特例
 - (ア)上記①②に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い、大会参加を認める。
 - (イ)上記④の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。
- ※大会参加資格の別途に定める規定に関しては、正式な大会要項にて参照のこと

- (10) 参加制限 ①各種目の都道府県別参加数は、次の表の通りとする。

都道府県名	学校対抗(団体戦)		ダブルス		シングルス	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
北海道	1	1	3	3	5	5
宮城	1	1	2	2	4	5
埼玉	1	1	3	3	7	7
千葉	1	1	3	3	6	5
東京	2	2	4	4	8	7
神奈川	1	1	3	3	7	6
静岡	1	1	3	3	5	5
愛知	1	1	4	4	8	8
大阪	1	1	3	2	5	5
兵庫	1	1	3	3	6	7
広島	1	1	2	2	4	5
福岡	1	1	2	3	5	5
上記以外の府県	1	1	2	2	4	4
開催県増加分	1	1	2	2	4	4
合計	49	49	107	107	214	214

②(公財)日本卓球協会より国際大会の代表として認められ、予選会に出場できなかった者は上記の表以外とする。

③外国人留学生の参加については、(公財)全国高等学校体育連盟卓球専門部規定第1条2.大会運営規定[5]外国籍選手の大会出場制限による。

- (11) 参加申込 (※詳細につきましてはホームページにてご確認下さい。)

※個人情報の取扱に関して
大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

①申込書類 (ア)出場校提出書類(各都道府県専門部委員長へ提出)

(イ)都道府県専門部委員長提出書類(下記③の へ提出)

②申込方法 (ア)各都道府県高等学校体育連盟卓球専門部ならびに各参加校の申込責任者は、

「開け未来の扉 中国総体2025」ホームページから参加申込書・選手

一覧表の様式をダウンロード、申込書類を作成し、各都道府県高等学校体育連盟卓球専門部でまとめ、下記③申込先2ヶ所(宛1枚、 宛2枚)へ簡易書留郵便で申し込むこと。

また、補助データとして、各都道府県高等学校体育連盟卓球専門部は、選手一覧表のデータを、 宛に電子メールにて送信する。

③申込先 〒464-8540 愛知県名古屋千種区若水3-2-12 愛知工業大学名電高等学校内

(公財)全国高等学校体育連盟卓球専門部事務局 川村 光男 宛

TEL:090-5393-5253 FAX:052-722-3788

E-mail: mituo108@yahoo.co.jp

〒750-8521 山口県下関市 南部町1番1号

令和7年度全国高等学校総合体育大会 下関市実行委員会

卓球競技事務局担当 百合野 進弥 宛

TEL:083-231-2733 FAX:083-231-2746

E-mail: ih-takkyu@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

④申込期日 令和7年6月24日(火)必着

- (12) 参加料 ①参加料 (ア)学校対抗(団体戦) 1チーム 45,000円
(イ)個人戦 1名 4,500円(単・複両方に出場する場合も1名4,500円)
②参加料納入方法
(ア)各都道府県高等学校体育連盟卓球専門部で取りまとめ、各金融機関の振込依頼書、ATM
またはインターネットバンキングを用いて下記の口座に振り込むこと。
(イ)振込先

金融機関	山口銀行 唐戸支店
口座番号	普通 5102877
口座名義	全国高等学校総合体育大会下関市実行委員会 会長 田中 一博

- ③参加取消に伴う納入金の取扱い
(ア)参加申込期限日までの取消については返金する。但し、振込手数料を差引いた額とする。
(イ)参加申込期限日後の取消については、返金しない。

- (13) 表彰 ①学校対抗(団体戦)
(ア)第1位から第5位(ベスト8)までを表彰する。
(イ)優勝校(男・女)には(公財)全国高等学校体育連盟卓球専門部優勝旗、(公財)全国高等学校体育連盟会長杯、読売新聞社杯、文部科学大臣杯、NHK楯を授与する。準優勝校(男・女)には準優勝杯を授与する。
②シングルス及びダブルス
(ア)第1位から第5位(ベスト8)まで表彰する。
(イ)優勝者には(公財)全国高等学校体育連盟卓球専門部優勝杯を授与する。
③(公財)全国高等学校体育連盟卓球専門部表彰規定により、殊勲賞及び敢闘賞を授与する。
④前年度優勝校、準優勝校、優勝者にレプリカを開会式で贈呈する。

- (14) 宿泊 配宿センターを通じて申し込まなければならない。

- (15) 組合せ 1. 学校対抗(団体戦)
方法 リモートで行い、参加者は通信環境が整っている場所から参加する。参加が難しい場合は、全国役員が代理抽選を行う。
2. シングルスおよびダブルス
方法 (公財)全国高等学校体育連盟卓球専門部によるプログラム編成会議において行う。
①日時 令和7年7月3日(木)～5日(土)3日間
②会場 J:COMアリーナ下関(下関市総合体育館多目的室)

(16) 諸会議

会議名	日 時	会 場
全国理事会	7月30日(水) 8時30分～	J:COMアリーナ下関 (下関市総合体育館多目的室)
全国評議員会	7月30日(水) 12時00分～	J:COMアリーナ下関 (下関市総合体育館多目的室)
監督会議	7月30日(水) 14時00分～	J:COMアリーナ下関 (下関市総合体育館多目的室)

- (17) 個人情報及び肖像権に関わる取扱いについて
大会参加申込書等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取扱いに関しては正式な要項でご確認ください。

- (18) 連絡事項 ①プログラムの無償配布は、(公財)全国高等学校総合体育大会開催基準要項による。
②競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側の負担とするが、その後の責任は負わない。
なお、参加者は健康保険証を持参すること。
③引率責任者は選手の行動に対してすべての責任を負うものとし、選手は高校生としての本分を忘れてはならない。
④競技開会式当日の服装は、選手はユニフォームを着用し、ゼッケンをつけること。
⑤練習会場は、大会本部で割り当て、事前に通知する。
⑥宿舎及び練習会場から競技会場までのシャトルバス等の準備は行わないので、参加校ごとに対応すること。
⑦競技会場の専用駐車場には限りがあるので、できるだけ公共の交通機関を利用すること。
⑧申込不備による問合わせの諸経費は、当該都道府県の負担とする。

*問合せ先

令和7年度全国高等学校総合体育大会下関市実行委員会
卓球競技事務局 担当 百合野 進弥
〒750-8521 山口県下関市南部町1-1
TEL: 083-231-2733 FAX: 083-231-2746
E-mail: ih-takkyu@city.shimonoseki.yamaguchi.jp